



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

やまぼうし

社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こども園HP



変わりゆく常識

予防接種

予防接種法の改正に伴い、昔は義務規定で学校などに集団で受けに行っていました。今は努力規定となり個人で行うようになりました。

予防接種カード

丹波市では、平成29年の4月より予防接種を受けるのに『予防接種カード』を使用する事になりました。どのような流れで導入されたのかを丹波市健康課の保健師さんにお話を聞きました。

子どもの予防接種は種類も多く、数回受けられないといけないものがあり、受ける時期や次の接種まで間隔を空けないといけないものがほとんどで管理が難しかったのです。しかしこのカードを活用し、専用サイトに登録をしておくことで個別に「予防接種のお知らせ」がメールで届くなど、管理しやすくなりました。予防接種カードの導入後は接種ミスが減り、予防接種率も上がったそうです。そして、なんとこのシステムの導入は全国初！丹波市が国の補助金を活用して独自に開発したものでした。すごいですね！丹波市！

感染症対策のひとつとして

6歳までに受ける予防接種は約10種類。そのうち法律に基づいて市町村が主体となつて実施する「定期接種」と希望者が各自で受ける「任意接種」があります。定期接種は公費ですが、任意接種は自己負担となります。ここ数年で任意接種だったものが定期接種化し、個人での負担が減りつつあります。来年の秋頃にはロタウイルスの予防ワクチンが定期接種化される予定です。ワクチンで防げる病気は多くないかもしれませんが、防げる病気だけでも予防していきたいですね。

園では清潔な環境を整える事を第一に、日々の健康観察・健康管理はもちろん、手洗いがいの習慣づけを0歳児から行っています。生活の中で自分の体の調子に気づく事、その状態を伝える事も大切に行っています。

これからインフルエンザなどの感染症が流行りやすくなる時期です。うまく市の制度を使いながら感染症の予防につなげていけると良いですね。

メールでは予防接種名・接種内容・推奨期間・接種期限などをお知らせしてくれます♪

予防接種カードにはちーたんが♪



※参考記事 丹波市HP Koo-wpo など

倉橋惣三の言葉

こころもち

子どもたちは心もちに生きている。その心もちに触れてくれる人だけが、子どもにとって、有難い人、うれしい人である。

子どもの心もちは、極めてかすかに、極めて短い。濃い心もち、久しい心もち、誰でも見落とさない。かすかにして短き心もちを見落とさない人だけが、子どもと俱にいる人である。



芝生でゴロゴロ♪

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論はまさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

